

令和3年度
天王寺区運営方針（素案）について

【概要版】

天王寺区区政会議
令和2年12月22日（火）

区の目標（何をめざすのか）

- みんなの「思い」が区政に反映されているまち
- 未来を担う人材が育つまち
～世界に通じる文教「都市」の実現～
- 「命を守る政策」がしっかりと進められているまち
- 歴史的・文化的資産を活かして多くの人が集いにぎわうまち
- つながりあい、支え合い、助け合うまち

区の使命（どのような役割を担うのか）

- 区民に対してさまざまな政策を提案し、区政の主役である区民に選択していただく。
- より区民に身近な立場から「ニア・イズ・ベター」を徹底し、地域の特性に応じた施策・事業を展開する。
- 施設の管理運営費の圧縮など徹底した歳出削減を行い、災害対策への予算の重点配分や、地域の未来を担う人材の育成、支援を要する人への福祉の強化を図る。

区運営の基本的な考え方（区長の方針）

- 様々な“区民の声”を積極的に集約し区政運営に反映させる。
⇒【経営課題1】
- 地域特性を活かして未来を担う人材の育成に取り組み、世界に通じる文教「都市」をめざす。
⇒【経営課題2】
- 支援を要する方々について見守りを推進、交流機会を充実するとともに、健康でいきいきと暮らせるまちをめざし、健康増進の取組を展開する。
⇒【経営課題3】
- 地域の力を結集した「防災力」の向上及び防犯対策の強化に取り組む。
⇒【経営課題4】
- 聖徳太子や真田幸村など、天王寺の豊富な歴史的・文化的資産を活かし、地域主体の取組をサポートすることで、まちのにぎわいと活力の創出に取り組む。
⇒【経営課題5】
- 地域一体となった地域課題解決、地域活性化に取り組む「地域活動協議会」の運営を支援する。
⇒【経営課題6】

区運営方針（素案）の策定にあたって…

これまで委員の皆様
いただいたご意見
運営方針（素案）に
反映しています！
「☆」マークが、ご意見を
反映した事業です。

2年度運営方針中間振り返り

中間振り返りで、運営方針に
掲げる主要事業の進捗状況
等を確認、方針を検討します。

素案

PD“L”CAサイクルの徹底

全事業について、区民の声*
(L=Listen)を重視、事業の
方向性（拡大・継続・縮小）の
判断に統一的に活用します。

*区民モニター、つなげ隊など



区長の決意—引き続きしっかり取り組みます—

—つながり合い、備える— 【安全・安心】

区民のみなさんの安全・安心を守り、より身近な地域の“つながり”づくりにつなげます。

《主な取組》 地域での見守り体制の構築
マンション防災の取組を強化
災害時避難所の備蓄品を充実 など

—より添い、育む— 【子育て支援・人材育成】

待機児童対策、課題を抱える子どもの支援やイノベーション人材の育成など、子育て層の幅広いニーズに応えます。

《主な取組》 待機児童対策の充実
子育て支援機能の強化
「こどもの居場所」での学び・生活サポート
英語交流・国際理解教室の開催 など

—楽しみ、ともに歩む— 【まちのにぎわい】

区民のみなさんとともに、みどころいっぱい“天王寺”の魅力を発信、活力あふれるまちをめざします。

《主な取組》 聖徳太子ゆかりの地を巡る歴史ウォークや講演会の開催
上町台地周遊マップの作成・配布
天王寺七坂顕彰板修繕 など



【経営課題1】 区民の声集約と反映プロセスの強化

○区政会議の開催と意見・評価の反映☆

区政会議を開催し、意見・評価を、区運営方針及び区において実施される本市事務事業に反映

<参考>

区政会議意見 区職員から課題や苦勞している点を聞き、議論を深めていってはどうか。

○区民モニター・あなたの声をつなげ隊による区民意見の聴取 ☆

区政運営にかかる意見や評価をいただくために、区民モニター調査や、「あなたの声をつなげ隊」のメンバーが、区民に直接、意見聴取を実施

<参考>

区政会議意見 ネットやSNSなどを有効に使って、面と向かって発言しない住民の意見を集約するなどの方法を考える必要がある。

【経営課題1】の続き…

○“伝わる広報”を意識した情報発信の強化☆

区広報紙や広報板、HP、SNS（LINE@など）を活用、ニア・イズ・ベターの視点から、“伝わる広報”を意識し分かりやすく情報発信

- ・ 広報紙 読者拡大に向けた設置場所の開拓や配付申込の勧奨 など

<参考>

区政会議意見 広報紙を小学校で配付して児童が家に持って帰ると、家庭で見て貰えるので、効果的ではないか。

○快適に利用できる区役所の追求

来庁者の快適度を向上させる取組を推進

- ・ 職員塾の開催（3回以上）
- ・ 接遇研修の実施（3回以上）
- ・ 区民意見をふまえた設備等の改修 など

【経営課題2】

「世界に通じる文教『都市』」をめざした人材育成の取組

○イノベーション人材の育成

拡大

英語体験・国際理解教室の開催

低年齢期から海外の文化・行動様式に対する理解を深めるとともに、外国人とのコミュニケーション力の育成をめざす。

- ・親子英語体験教室（5・6歳児とその保護者）
- ・英語体験・国際理解教室（小学校1・2年生）
- ・英語交流・国際理解教室（小学校3・4、5・6年生）
- ・イベント型事業



<参考>モニター結果 拡大+継続 76% 縮小8%

○子どもの将来のための投資の促進

子育てスタート応援事業

天王寺区に生まれた子どもを持つ家庭を対象に、乳幼児期から子どもの体験・教育等の機会を提供する仕組みとして子育てスタート応援券

（クーポン券：10,000円分）を交付

（令和3年度新規対象者数（見込み）804名）



<参考>モニター結果 拡大+継続 80% 縮小4%

○こどもの居場所等における学び・生活サポート（こどもの貧困対策）☆

学校及び民間事業者との連携により、居場所等での学習支援・生活相談に応じるサポーターの活動を支援。課題を抱える児童・生徒の学力向上、精神面のケアにつなげる。

<参考>

区政会議意見 グローバル社会は格差の拡大やこどもの貧困といったマイナス面も大きい。こどもたちの将来に役立つ支援を。

モニター結果 拡大+継続 81% 縮小3%

○小・中学校におけるカウンセリング

拡大

いじめや不登校等の問題解決に向けて、小・中学校にスクールカウンセラー（臨床心理士）を配置・派遣し、児童・生徒や保護者等へのカウンセリングを行う。

- ・中学校 週1日配置
- ・小学校 週1日配置

【経営課題2】の続き…

○子育て相談機能の強化☆

重点

- ・発達障がいのある子どもを抱えるなど子育てに不安のある保護者が気軽に相談したり、同じ悩みをもつ親同士の情報交換等を行うことができる場を区役所内に設置する（週1回）
- ・認可外保育施設に巡回相談員が訪問し、不安や問題を抱えている可能性のある子どもの状況を把握し、適切な行政支援への誘導を行う。

<参考>区政会議意見 保育所で発達障がいの子を持つ親に働きかけて状況を把握できる体制を求めたい。

○子育て世帯の支援体制・保育サービスの充実☆

拡大

- ①保育コンシェルジュ※が、様々な子育て情報源の提供や出張相談を行うとともに、地域の子育て機関と連携
- ②区内の子育て支援施設が一堂に会する、施設利用者向け説明会“子育て情報博覧会”の開催
- ③こども青少年局と連携し、保育所の充実に向けた取組みを推進



<参考>

区政会議意見 ①②子育て関連の資料・情報を誰にでも手に入れるようにしてほしい。

モニター結果 ①拡大+継続 75% 縮小8%(利用者支援事業)

②拡大+継続 77% 縮小6%(子育て情報博覧会)

※保育コンシェルジュ:保護者ニーズと保育サービスのマッチングや子育て全般に関する情報提供、サービスの利用支援を行う専門相談員

【経営課題3】

支援を要する人一人ひとりの命を守り抜く地域福祉

〈支援を要する人への見守り体制の構築〉☆

①独居高齢者等見守りサポーター事業

地域住民などを中心としたボランティアが独居高齢者、高齢者のみ世帯(介護保険サービスを受けている方等を除く)の家庭訪問を行い、医療・介護等の課題への早期発見・早期対応を図る。



②地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業

避難行動要支援者名簿に登載されている要援護者に対し、地域における平時の見守りと災害時の避難支援への備えを強化

<参考>区政会議意見 必要な方に見守りの同意をもっと貰えるようになれば良い。
モニター結果 ①②拡大+継続 86% 縮小3%

〈健康のための取組の強化〉☆

①健康出前講座の実施 (18回以上)

「いきいき百歳体操」「ももてん体操(筋力アップ版)」の紹介・実技指導、「感染症予防」をテーマとした講座や「栄養講座」等

②がん検診周知事業

がん検診の周知や受診勧奨を行い、がんの予防啓発を行う。

<参考>区政会議意見 健康分野は、高齢者だけでなく若年層にも目を向けるべき。
モニター結果 ②拡大+継続 87% 縮小4%

【経営課題4】

地域の力を結集した「防災力」向上の取組

＜減災のための取組みの強化（事前の備え）＞☆

- ①防災出前講座の実施（12回以上）
- ②家具転倒防止器具の取付の啓発（12回以上）

＜参 考＞区政会議意見 防災グッズの普及・周知をお願いしたい。

＜減災のための取組みの強化（被災後の備え）＞☆

①マンション防災・地域との連携支援

- ・マンション等における自助・共助の体制構築を進めるとともに、課題及び優れた取組みを共有する機会を設ける

マンション防災学習会・防災カフェ(仮称)の開催

マンションへの個別支援 15件以上

- ・災害時協力企業・事業所への登録を呼びかけ など

②被災者支援の充実

- ・避難所の備蓄品を充実
- ・避難行動要支援者名簿を更新し地域に提供



(マンション向け出前講座)

＜参 考＞

区政会議意見 ①災害救助青年部と連携しマンションの体制づくりにつなげられないか。

モニター結果 ①拡大+継続 85% 縮小3% ②拡大+継続 88% 縮小1%

【経営課題4】の続き…

〈安全・安心の確保（犯罪件数減少に向けた取組）〉

- ①青色防犯パトロール車による巡回（240回以上）
- ②防犯カメラ設置状況の周知（令和2年度末累計：115台設置見込）
（参考）令和3年度 街頭犯罪対策として設置予算を計上（5台分）



〈参考〉

モニター結果 ①拡大+継続 89% 縮小2% ②拡大+継続 88% 縮小1%

〈安全・安心の確保(安心して生活できる環境づくり)〉☆

- ①空家等対策推進
 - ・所有者調査、是正に向けた助言、指導の実施、空家の活用事例紹介
- ②迷惑駐輪対策
 - ・地域等と協働した放置自転車対策啓発活動の実施
（ゆめまちロード：寺田町駅）
 - ・放置自転車の撤去、駅周辺での駐輪場増設（四天王寺前夕陽ヶ丘駅）

〈参考〉

区政会議意見 空家の所有者に対して、管理の徹底を図るような施策が望まれる。

モニター結果 ②拡大+継続 86% 縮小4%

【経営課題5】 戦略的なシティ・プロモーションの推進

○天王寺区魅力発信・にぎわいづくり事業☆

「歴史的・文化的資産を活かして多くの人が集いにぎわうまち」
の実現に向け、各種取組を実施

- ①周辺区と連携し、聖徳太子ゆかりの地などを巡る歴史ウォークを開催
(周辺区との連携強化、新コースを開拓)
- ②聖徳太子をテーマとした講演会を開催
- ③歴史的・文化的資産を活かした地域主体イベントなどへの取組支援
- ④上町台地周遊マップの増刷・配布(10,000部)
- ⑤てんのうじ吹奏楽フェスティバルの開催 など

<参考>

区政会議意見 熊野街道ウォーク以外のウォーキングコースの設定も可能ではないか。

モニター結果 ①②③④ 拡大+継続 80% 縮小7%
⑤ 拡大+継続 83% 縮小5%



(聖徳太子ウォーク)

【経営課題6】

大きな公共を担う活力ある地域社会づくり

○地域コミュニティの活性化☆

これまで培われてきた人と人との「つながり」を礎に、若い世代やマンション住民など、より幅広い人と人とのつながりづくりを支援し、身近な地域の中で生活課題の解決等に取り組むことで、地域コミュニティの活性化を促進する。

（取組例）マンション防災、避難行動要支援者への支援体制構築 など（再掲）

<参 考>区政会議意見 町会、マンション管理組合、生協など各種団体を活用して地域サポートの充実に取り組んでいただきたい。

○地域活動協議会への支援☆

- ①地域活動協議会の自律的な運営・活動を促進し、地域コミュニティの機能の向上を図るため、地域活動協議会に対し財政的支援を行う。
- ②自律的な地域運営の仕組みづくりを行うため、地域活動協議会に対し、中間支援組織（まちづくりセンター）を活用しながら支援を行う。

<参 考>

区政会議意見 住民が安心して活動を続けられるよう、区役所のサポート体制を整備してほしい。

モニター結果 ①拡大+継続 84% 縮小3%

独自の事業評価 -PD “L” CA サイクル- の徹底

- * 全ての事務事業について、聴取した“区民の声”を、予算や施策の展開に反映させる、天王寺区独自の事業評価
PD “L” CAサイクル(L=Listen^(聴取))を導入(平成26年度～)
- * 「基準」を策定し、“区民の声”を、事業の方向性(拡大・継続・縮小)の判断に、より統一的、体系的に反映(平成27年度～)

「PD “L” CAサイクルに基づく事業の方向性等の判断基準」

ステップ1

事業を継続する場合、次の要件を満たすことを基本とする。

- 区民モニターによる「事業の方向性」の調査結果
⇒ 「拡大」＋「継続」の割合が、60パーセント以上

ステップ2

ただし、次の要件に該当する場合、廃止又は再構築する。

- 参加者(利用者)アンケートによる「満足度」調査結果
⇒ 「肯定的意見」の割合が、60パーセント未満

令和3年度運営方針策定のスケジュール

令和2年12月22日

第2回区政会議で議論



令和3年2月中旬

運営方針（案）の公表



令和3年3月

令和3年度予算確定



令和3年4月上旬

運営方針の確定・公表



令和3年度もがんばります。
ありがとうございました。